

NEW

HITACHI



# 情報漏洩のきっかけは“持ち出し”から“共有”へ クラウド利用で変わるべきリスクへの対策

## Microsoft OutlookやMicrosoft Teams利用時の情報漏洩対策できていますか？

昨今、ファイルの持ち出し方法はUSBメモリーやCD／DVDなどの物理デバイスから、OutlookやMicrosoft Teamsといったコミュニケーションツールへと急速にシフトしています。しかし、便利さの裏で不注意による情報漏洩のリスクが潜んでいます。



## 秘文なら、OutlookやMicrosoft Teams利用時の情報漏洩リスクを低減



### 送信前の内容確認を促し、不注意による情報漏洩を防止

送信前に警告アラートを表示することで、メールに社外秘ファイルを添付していないか確認を促し、不注意による情報漏洩を防止します。



### 生成AIと連携したチェックで宛先間違いを抑制

平文ファイルの送り先に間違いないか生成AIと連携して自動チェックします。人手では見逃しやすい添付ファイルの中身までチェックでき、宛先間違いを抑制します。



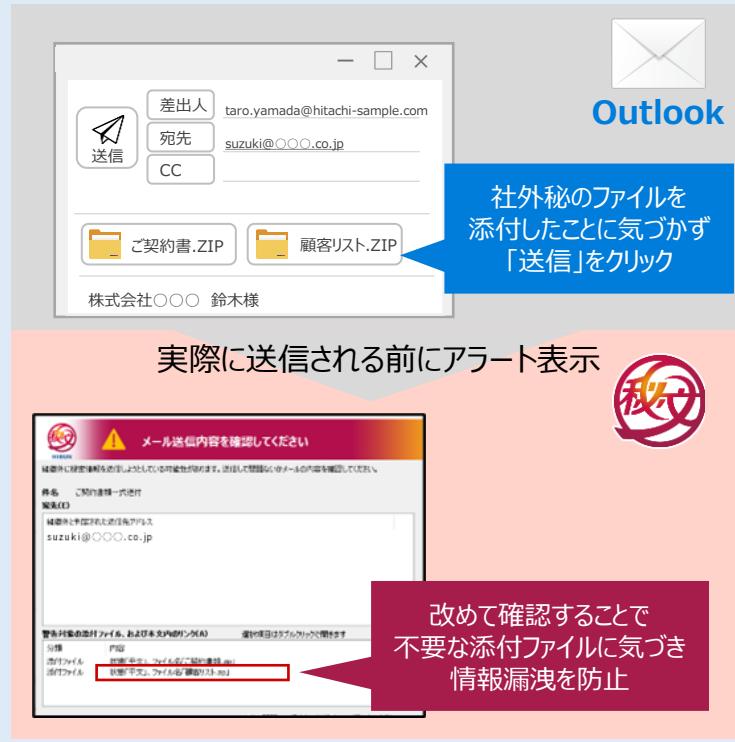
### Microsoft Teamsからの情報漏洩リスクを低減

社外メンバーが参加するMicrosoft Teamsのチャットやチャネルへファイルを共有した際、警告画面を表示することで、確認不足による情報漏洩のリスクを低減します。

# Outlook向け情報漏洩防止(※1)

## 誤送信防止アラート

社外宛に添付ファイルや、警告対象としたリンクを含むメールを送信する際、警告アラートを表示し、送信内容の確認を促します。



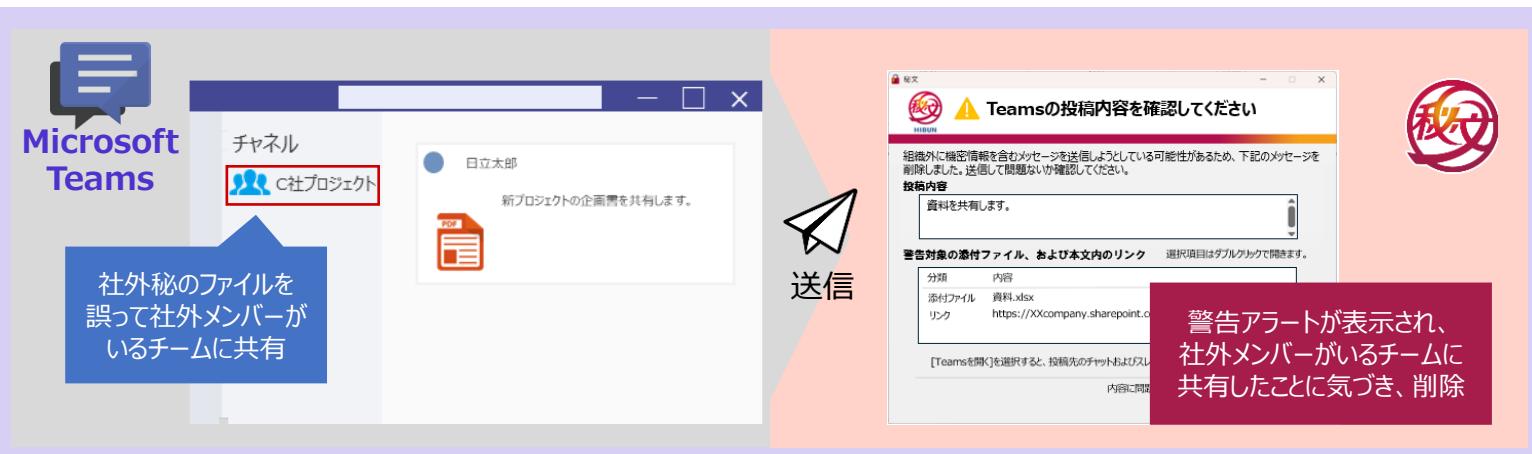
## 生成AIと連携した添付ファイルの自動チェック(※2)

メールの宛先に指定しているメールアドレス、メール本文に記載している宛先、添付ファイル内の会社名に矛盾がないか、生成AIと連携して自動でチェックします。



## Microsoft Teams向け情報漏洩防止(※2)(※4)

社外メンバーが参加しているチャットやチャネルに、ファイルやMicrosoft SharePointのファイルリンクを共有した際、警告アラートを表示します。



## 対象製品：秘文 Endpoint Protection Service、秘文 Device Control

(※1) OutlookのWeb版および、Windows10/11にプリインストールされている「新しいOutlook/Outlook(new)」には対応しておりません。

(※2) 秘文 Endpoint Protection Serviceの本機能は、2026年1月末リリース予定です。

(※3) 本機能を利用する場合、お客様にてAzure OpenAIを契約および、構築・運用する必要があります。

(※4) Microsoft TeamsのWeb版には対応しておりません。

※秘文は、株式会社日立ソリューションズの登録商標です。※Microsoft (Microsoft Teams, SharePoint, Outlook) は、マイクロソフトのグループ企業の、米国およびその他の国における商標または登録商標です。※本リーフレット中の会社名、商品名は各社の商標、または登録商標です。※本文中および図中では、TMマーク、®マークは表記しておりません。※製品の仕様は、改良のため、予告なく変更する場合があります。※本資料の一部は、生成AIにより生成されたコンテンツを使用しています。※本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法ならびに米国の輸出管理関連法規などの規制をご確認のうえ、必要な手続きをお取りください。なお、ご不明な場合は、当社担当営業にお問い合わせください。※本リーフレット中の情報は、作成時点のものです。

株式会社 日立ソリューションズ

[www.hitachi-solutions.co.jp](http://www.hitachi-solutions.co.jp)

本リーフレット掲載商品・サービスの詳細情報  
<https://www.hitachi-solutions.co.jp/hibun/sp/>

